



Red seal impression (likely a collector's or library's mark)

~13
2132
26



饗庭藏書



饗庭文庫

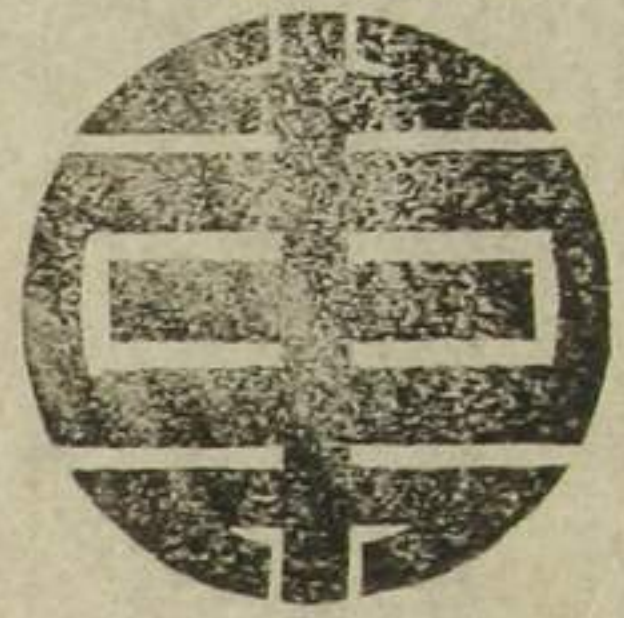
2132
26

26

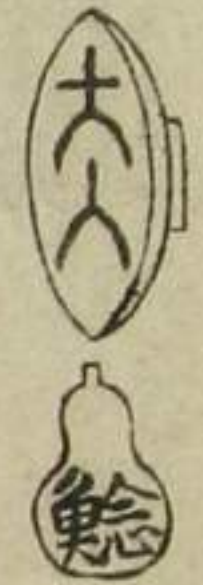
正徳田舎

正徳田舎

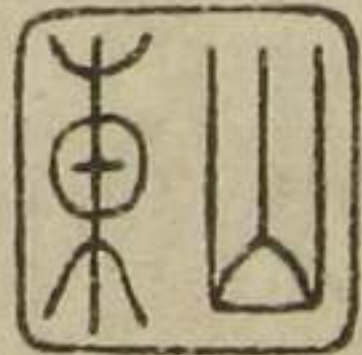
91



江



京傳叙



山東鷄告

山東唐洲

兩筆著

夜半花名漬

戸

ちや

ほけ

夜

夜半花名漬
花名漬を中
を擲く。カド
以て修めり。ユキ
多しけん高き

ロノ

門カドナカハ遠トホり。同ドウ家ケ子コ一ヒトまマを
鶏トリ唐カラ乃ナラバあア子コ一ヒトまマを
懷フトコロらラてテあアり。子コよ
換カ合カ成セせセらラふ。三
人ヒトあアりリ文フミ珠ジュあアりリ

ロノニ

ぬヌ婦メらラもモ一ヒトまマをヲまマり
けケらラもモ紋イタダキ白シロ成ニ成ゲりリ
智チ恵ヱふフらラもモ一ヒトまマをヲまマり
少コらラもモはハ本ホン座ザ乃ナラバ
禁キン句クまマんンくク方カタ都ツ比ヒ

書成はくも。女島を
らり。秘密の傳を
此一冊。み。ゆ。ら。り。
あ。と。女。島。の。後。り。
よ。く。は。り。

ゆ。き。さ。あ。活。ら。り。ん。
夜。半。の。あ。漬。り。
き。き。き。き。き。き。き。き。
と。ら。り。り。り。り。り。り。り。
行。燈。入。樂。事。る。に

らんまろ

山東京傳述

天明八戊申春



コノ田

○かけ合の序

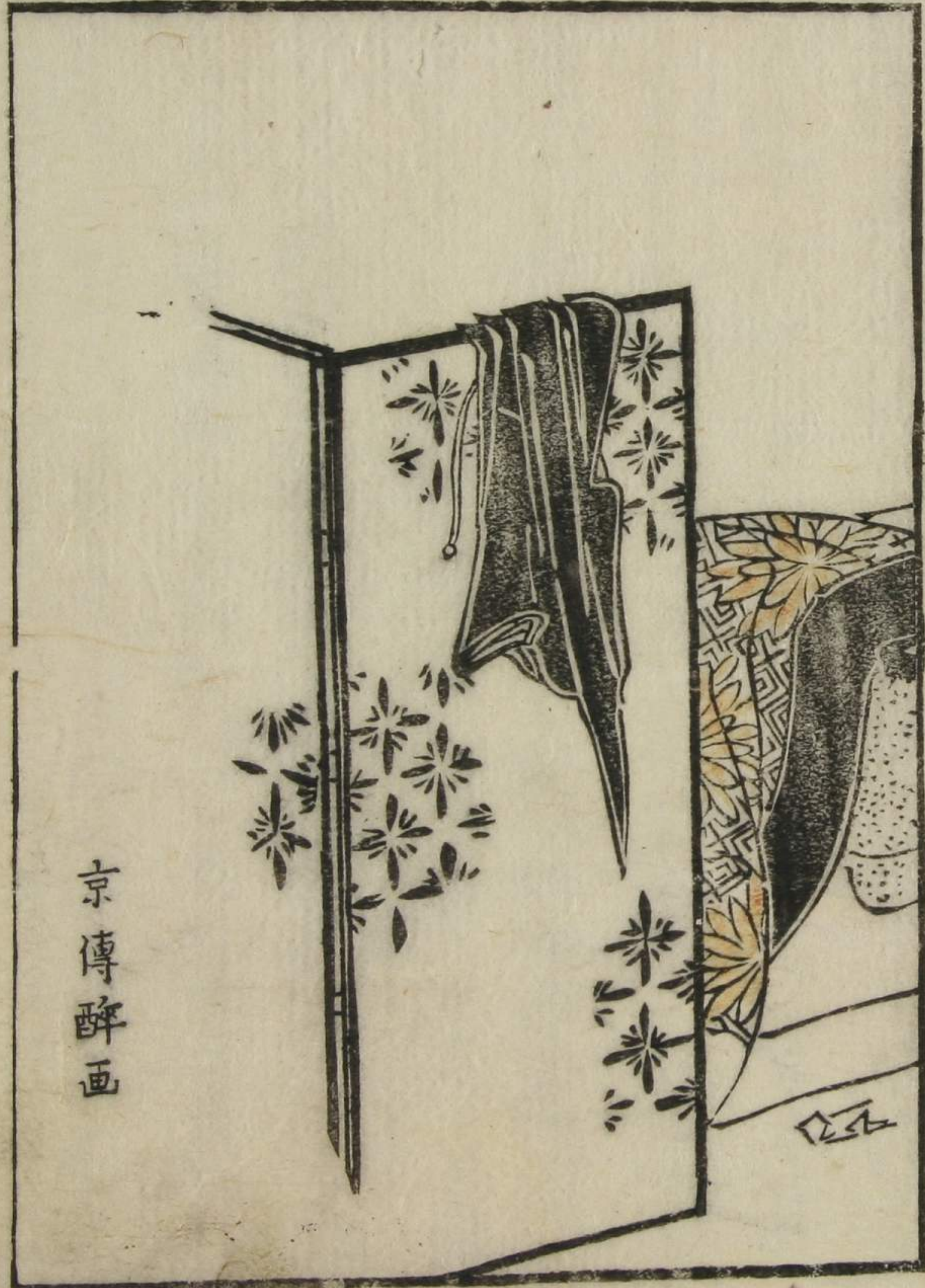
● けいこう
▲ 唐 瓦

ちくせふのちんもがけいこうの
しんせんかちんあるふとん
てんもちんも(しんも)はちん
がけいこうのちんも

えんがをうらうらあうら。家おくの鬼おにの藤ふじの
まき花はなえんりやせバ。風ふあうら。松系まつぎの
まきまきのうらうら。ゆやも。狗いぬまきめくつらふ
あり。りふき契婦ききがて燈あかりハ。用もちふら此こゝ桶ぶく
ふらうら。約やく下した流ながのかききくはあうら。れ
底そこまきぐもひびき。空うちまのあうら。赤鬼あかおに
ぶぶ心こゝろももうらうら。んん。ままままらら
七ななままハハままおおハハううににおおままししととつつちちぞぞら。

夏なつはままハハあありりふふ月つきのででぬぬままららるる。女むすめ郎ぢやうの
ままままららととつつららままののふふ。ううららああややととおおうう。
ままののドドややふふ回まわままららくくおおととままをを。んんせせまま
ととああのの端はたととままらら。下したりりままととららふふ亮あきらののままらら。
ららややままままくくももああままららととおおりりんん。いつ
ののままふふ大だいつつハハととままらら。ぬぬににははつつらら拍はく子し本ほん
せせままららくく。一いち度どふふんんせせととままららるる。れれびび。
ららぬぬららららああややままららつつれれああららままららんん。ははらら

京傳醉画



がしけんど淋^{しみ}あゝものよおのひあさる。
 ふけ^{ふけ}あやめんま^ま針^{はり}。祢^ねむそあこ下^{した}。け
 ハ^ハあぬじつごま^{ごま}めてりよやむくからん。
 か^かい^いく^くお^お一^一盡^盡名代の客さちちあありか入のりより
十冊とせしそそりる五名代のあんま
 新^新り^りあ^あん^んざ^ざん^んと^と入^入う^うあ^あの^の本^本あ^ある^る。ア^ア川
 ら^らま^まち^ち人^人と^とそ^そて^てお^おらん^んあ^あん^んー^ーお^おか^かん^んを^を 寄
 そ^そん^んを^をえ^えん^んど^どや^やア^ア祢^ね人^人。お^お親^{おん}喜^{のん}の^の地^ち。ゆ^ゆて^てえ^えあ
 う^うあ^あい^いら^らか^かつ^つく^くき^き。新^新ア^アう^うら^らま^まら^らう^うと

おみせあんー 寄 まちやうれいよあんー
 いろとすああをさしものぶ 新 いやぶねは
 け^けん^んぶ^ぶう^うん^んぐ^ぐお^おん^んせ^せあ^あん^んー^ー 寄 そんあ^あら
 あ^あん^んど^どん^んと^とか^かき^きふ^ふて^てや あんど^どい^いん^んぎ^ぎて^てか^かき^きと^と
あ^あん^んど^どは^はか^かみ^みげ^げう^うさ^さと^とあ^あき 新
 カ^カア^ア子^子く^くお^おう^うあ^あん^んー^ー 英文曰
 ○ 寄 曲^の濃^あ近^いに^い寝^ねお^お宿^り
 それ尻^{しり}い^いころ^ろし^して^てひ^ひら^らま^ま志^しく^くん^ん全^{ぜん}ハ^ハい^いっ^って
 つ^つふ^ふ子^子ー^ーく^くは^はい^いく^くま^まい^いん^んと^とく^くい^いの^のい^いつ^つあ

多わし一かく。死ど金とく。遺^{オノ}買^カうもあし
れど。さうらふといふと。かれ屁玉と金玉
裡のさびあるあり。ふろといふと。ふろ
虫の怪れ紙うるとあやし。怪場のぬり札
れむせきとあさげ。角^ト屋敷と梅子^{梅子}張^張
作^北父^父子^子まろしう。西^西望^望を^を下^下やし。紙^紙よ
あわれられもんがきいさし。いさし。いさし。いさし。
替^替波^波女^女扁^扁鵲^鵲といふも。金銀^{金銀}れ^れ縁^縁むらうの

あれがききまのあらうし。金といひし。時
しといへい。候約^{候約}もさうすと。おみ公^公坊^坊さうも
ねむし。廊^廊よ入^入くもんや。といふと。あ
音^音書^書の^の人^人が^があ^あし。此^此里^里へ入^入る^るも。意^意を^を地^地よ
傾^傾城^城へ^へ入^入る^るも。あ^あの^の子^子あ^あの^の意^意を^を地^地よ
か^かゆ^ゆの^のさ^さめ^めと^とあ^あら^らへ^へし。あ^あの^のさ^さめ^めは^はく^くし
懐^懐の^の力^力可^可あり。碎^碎あ^あく^くく^くて^て遊^遊ぶ^ぶは
と^と危^危れ^れし^しと^と大^大の^の元^元旦^旦を^を捨^捨り^り可^可あ^ある^る大^大三^三十^十日

まゝくきしつらとささめたる二人は
遊あそびあり二人の愛い濃のう一人の道みちはそひら
ほくくふのまの念ねんいあふよしくき桃ももえん
子こを執とりしむじぬのねとささめたるまがひのこと
ほくえんのうねをえん金かねれまゝとありしつら
一い日ひ秋あきの夜よ乃なもささめ青あおのふがふれさるゑ
げくけ福ふくそびれする余あまりよい愛い濃のうきち松まつをか
く下したをくコレきん通うしら子こ公こうハ一い町ちやうあよいらができ

こそよどおちつと形かたちふゆをけつて人のナアニいろ
ももてんそくくさるゑこくさるゑいさるゑさる
よさまじいさかしくははしみがさきいようよ
シラはかしくやうがさるゑもさるゑがれ
おさねるまよかむやうありむさくあみお
わんがさるゑ時ときや人の死しぬらんご名ないんを
せうちでござんしくやうがさるゑくおさめよま
てのきし女むすめ郎らうささるゑ人ひとのあはれをさるゑら

とむくをまうら
くあよるの客がいきやん
けるルをいふと一軒いっけんよいつたおがうら
いつはあやの振袖ふるしゆを産まよしや
君をうら。女をたつらつさうよもあして何
らむしやうよちやんあやの客とあをつらう
も玉ねるとうらうかへあけ出たけして
何れをたうらしていつらよあさるあんないさ
あの人いさあせしちせぬといふものごとから

けうぬるつていさしきつたそよよ
客よべんよあさから何れかよあをほ
まへるでんぶあしねうらやうらうら
しこのごといつあうらうらやつていさ
んし。どうちの客あぶるあさうらさ
としてたうらうらうらうらやくよ
からうらあひのあそを思ふうら。客う
くきうからそあうぬかほぐよそ

もさ宮子むろくおと家しよモし今井いん
ねとらうもはあーやーあうらちやうんや
はらんぶがんーやくふりおあつ。ゆきさいごら
いさかおあゆきでさやしたうさうさといつ
は中の町ぶあつ。とらあがぶあさーやく
らあさささささささささささささささささ
縁からとらあさささささささささささささささ
あみのめさうとあふらちあんなあよあさ

きやーたから。それありよーてらう。きや
ーにあんとつ。お人あぶぶお人とつ。さ
宮はさささささといふ。そのぶからほんのさ
ぶと思つ。ありかて人あみのあさ
やをよかつ。さささささささささささささ
かあひのささささささささささささささ
ささささささささささささささささささ
ささささささささささささささささささ
ささささささささささささささささささ

そと女にーゆるおめ入らんれーやうつるを
あんをれとやうぐーからの子でわかん
やうそねい女がえんがむさと又よそごと
えうらが妙さそふこふさうら床をかさ
めく。字がゆきましく産まれらうつされ
の取あそびは好。茶屋はえとやううさく
あつてはるこことあり。坐し死の新造は
えられこことあるかしくらうしそ好

女をけりまき。床はうらへひさどりのらん
ぶ。物もいちどふ髪とむしうぶ。いふど
とありへーうらひ。ひさのあひまをさく。松で
こつこつさるはらとらさるく物く。
女にゆきあうく。ゆきとひさとある。拍子
ゆきゆきの。鼻びらとつくりえ。そと
ら。紙らどの。こまごむらとら。らん松。
らんちされさいらんか。の字をれ。夢がらから。

つらちハねんどげく人よさく、
志まうこねへ客が、あくく、
あさねく、そのもしく、
でんぶでりー、あふてく、
あつてん、おどがく、
胸ゆまがらと、あつてく、
うらんか、人ぶ、あづん、
しあん、しん、あそ、

あそが遠や、一、
くやかん、やく、
あまもち、
から名代、
ゆく、
しや、
さん、
はん、

とんべい、密がわのめい、そねい、とんべい、めい、
 おいらん、ごもり、みい、やせぬら、ちん、ご
 きん、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 ぶり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 じい、ぬと、のり、比、ごもり、ごもり、ごもり、
 ぼん、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 二一、めい、せち、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 じい、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、

中、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 かい、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 長、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 きの、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 い、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 ち、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 子、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、
 あ、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、ごもり、

ムウそねま身く用六何れいごと。此れハ
さ。アアそろつとそぼくおらんあんし。おめんもん
あんれととり。つはちも東^や具^ぐ張^ち志^しね人^に
アヤア形^{かたち}アらんせんが。新^{しん}造^{ぞう}とごころるも
ねくるで。みんな客^{きやく}人^{にん}おもふと押^おせさる。
ほえおも^い極^{ごく}おもと思^{おもう}ふ。半^{はん}ぶ中^{ちゆう}橋^{きやう}北^{きた}客^{きやく}人^{にん}
げうりくおざんまが。ほ^ほ糸^{いと}ぐおめんごころも
つととまろくしやとから。あんどゆびと切^き

こらおも具^ぐと一^{いち}とやらう。あんとていよつら
かやう。ごころほめできわいおあげ。あいら
こから。あひんと思^{おも}う。おくんまんし。東^{とう}具^ぐ
おかろりおゆひとごころん。あんと。おささる。
いふから。つらういよもや。アコレ。アヤけごらハ
し。いんどま。あやアねん。何^{なに}屋^やれ誰^{たれ}と。い
そろね名^なと。けくおろ。あられねまらぬ。ごづら
みすら。いすれおも具^ぐの。かろりおゆびと切^きとハ。

あんなうりたうねんこいさうがめんと切る
くらわあ。あせあねがとこらへいしとこ
さくゆ。さくかやが^{のち}残て君の程のまじか
れど。う利の金とかりくありらも。さうさ
はせゆくわんまうらりや。とねとさくじつ
さふ。こいあんばーやつはくがうはくーら
くも。あふれくびまほれる英濃じや。ねん
か。いさふ。くれほど。まも。ゆり。ら。い。お。ら。ゆ。り。

命でもやるうくと。例^{れい}れらちが流^{りゅう}俊^{しゅん}く。くら
ぎ。お。ゆ。く。情^{じやう}の。あ。る。文。句。と。あ。か。ら。く。お。が。女
郎^{らう}れいよまき。ホレニそふいひあんせむつらう
らやまうらふらうかつら。ぞ。れ。れ。お。め。れ。身。の
う。と。さ。ら。し。か。ど。う。か。う。さ。か。あ。ら。だ。ふ。こ。い
と。思。ら。く。お。く。ん。あ。ん。ま。か。そ。ん。あ。く。い。ま。さ。し
つ。や。つ。ら。ほ。ご。ら。も。し。そ。ら。ん。お。ん。ま。ま。ま。ま。
お。ご。ん。た。と。な。か。ら。あ。ら。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

とて時を執りて人としりてしる。又ソリヤほんのそり
かへとくせやくせから。べらばらほくめ志ぬさるだ
てんといへむ。ゆきぬくホニうれいむいさでむざん
すと。そんなあうモウあさきめ既中とぬいぶおめま
かきんーやうと。小指の紙とよらうほりとぬいて
かんせうさぶらゆいハあんれるサもある。サア今いい
あんしーと通り。ほんよ実がめくむさる利と
やられ金をかりて形りとる。うん。これお具

とーとくおらんあんしー。それぐでさる福を今云
通り。あれお人よゆびと切つてお具として
えうそ福を形りいせんか。さういふものよさる
も志ぬ人もおまの公志いひくおぎんはとてい
えれ。時がうらちもぐつとへんむ。あんま
りほよみといふ福をよかつとて思つていひ
つにこむへんむいふとこらへぬ。思つてから。
々々ねむてえんおねんがこらへん。こらへん。

れはちとちうくいなむらとかきいものびからゆき
くてもゆきゆ移くさ。そねうつうらち紙入
紙中から。例^あ丹さうやうと出しく。よきでよ
中むらへぶららんぐ。さぶえん乃下中さお
かううふあらしくりふさう人。あまを女席
かえでもあむ。ひつてつてつてあさあさあか
らげもやまうつてつとあさうやとあ。うね
らんふいらんが。おまの公とさきくころ狂

この大帳さ。あ奥はらうらら中橋は家入
れ方から出あききうく。今晩なぞあむご
ぶらうと。ねん笑ふあゆくあうらうとが。
モシあうく新^あもをさきとまんぶねとあせ
ある程あれ傾^あも極^あは字がうくありやたと。
いづくもあ買れらねばどねあうらこのま
あ。二人きう目を四^あれ格よしく。そ那しやむ
るくもあく。あ^あはがモシ^ああ濃^あらんを指^あで

思ひがうた。つれづれに申買をした。思
志多んぶが。つれづれに申買をした。思
文車といふものがあるが。神田多んぶ客も大
收といふものがよく。さうなると。思
妻からあつてゆく。思
ゆきゆく。思
ほれ。思
とゆきゆく。思

は古ねん。思
あや。思
ゆき。思
文車。思
ゆき。思
大收。思
とゆき。思

あらみぬとを指とひかきましやしゆく
と。うれしづくかづく。そねらけつらぐを
比る子のみこやせく。とらしく新造おゆひを
さうらせく。代金五兩張とらしくせりく。大悦が
方へきいつい例ふいせく切らからこい。妙れ
ほうからよびまらせく。あこおがゆびとせり
る奥をとらけつをく。あこ入てきとざし紙の
新どろ。ふりてきと又車。大悦がこらしくつるあ

でゆびれからをよこし。かきくおが血がほこし
しでる。く。例のオがらうれゆびをなま極く
くはるくをく。ツヤゆびがとくうとらんざと
そこらとさぎ。とさひばしとらなけく。おゆび
とつらおがた。うらぐ。うとく。一ツたし。おが
そらとくらせく。のさ。大悦もめれうとく。され
と程とさく。とら。とら。か。お。そ。れ。う。ん。か
ら。ど。も。指。を。は。ら。ふ。ひ。し。く。の。ん。ぐ。あ。ら

のさびしきおをもちもいしんぞうもひらり也の
かぐむが。しんぎふさいねんをとまへぬきびい
ころららららららららららららららららららら
しゆきぞんまこと。ころらららららららららら
ろとまぎららららららららららららららららら
ころららららららららららららららららららら
いらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふ
しためらららららららららららららららららら

ころららららららららららららららららららら
そねららららららららららららららららららら
かたけりもころらららららららららららららら
まらもころらららららららららららららららら
ころららららららららららららららららららら
ころららららららららららららららららららら
まらららららららららららららららららららら
あらららららららららららららららららららら

○
ある東山ニ人北に居れがさうと。破カズ
ひらきこゝあゝうくうもよとからゆ
ぬ。まよひらよそくどやうれ世の中。
こゝれを思ふが如うなうともみをお
れいつらうかういげのそとろ。さや
ほどうそいつらぬきせいれ一白う
けいやくよかぢひ。ぶらうれを花はあが

二のま

このまゝくもをそよよ公とからうれ
まらうらうらぶる人ぞうらあ
と祿ルくもむむ登ありと。こゝれ
と捨く。川竹の橋ののこまは
流よ。その耳ミミをそそぎぬ

東山に茶畑の大尾

は序

みからぬ不通子けらるる釋ハ。
^ハ子かちる世の物ぞ
^ハききき。ききみい子まじとく。
^ハのらも農不通紙書然々
^ハの紅毛人の口をきき
^ハカ

ホ目

^ハくあはべー。通と不通の
^ハ何はき紙両子
^ハあはして紙ぞあ。野暮れ
^ハあはして紙ぞあ。野暮れ
^ハあはして紙ぞあ。野暮れ

玉起る未あ笑ををり亭
子成いし顔



版元

通油町

鶴屋喜右衛門

東坡志林

中編卷之二